

毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行/毛呂山町議会
編集/毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



3月の定例会

平成27年度一般会計予算	2～3P
平成27年度特別会計予算	4P
平成26年度補正予算	5P
条例の改正等・町道の廃止、認定	6P
議員発議	7～8P
議案の審議結果	9P
常任委員会レポート	10～11P
一般質問	11～15P
人事・議会の動き	16P

平成27年7月1日発行

第 88 号

88

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

一般会計予算

99億4,300万円 賛成多数可決

3月議会 定例会

平成27年3月定例議会は、3月2日から3月25日まで、24日間の会期で開催されました。

今議会の議案は、条例の制定2件、条例の一部改正6件、条例廃止1件、補正予算6件、当初予算6件、町道廃止・認定各1件、人事1件、議員発議3件、合計27件が上程され慎重な審議が行われました。一般質問には8名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。

平成27年度一般会計予算総額は99億4300万円です。前年度の予算額と比較して7億5700万円の増額になります。その理由として防災行政無線デジタル化整備事業の継続費、中学校大規模改造費等を当初予算に編成したことが主な増額理由となります。

財源においては、町税の伸び悩みや各種交付金の減額がありましたが地方交付税や国・県の補助金等の活用などにより所要の一般財源は確保されています。しかし、自主財源の乏しい本町においては今後の動態を注視していくことが必要であります。

〔平成27年度主要事業〕

障害者福祉

介護給付費・訓練等給付費

4億8409万円

児童福祉

施設型給付費等負担金

4億744万円

生活道路等

町道整備事業

2億7517万円

防災対策

防災行政無線デジタル化整備事業費

2億844万円

教育施設整備

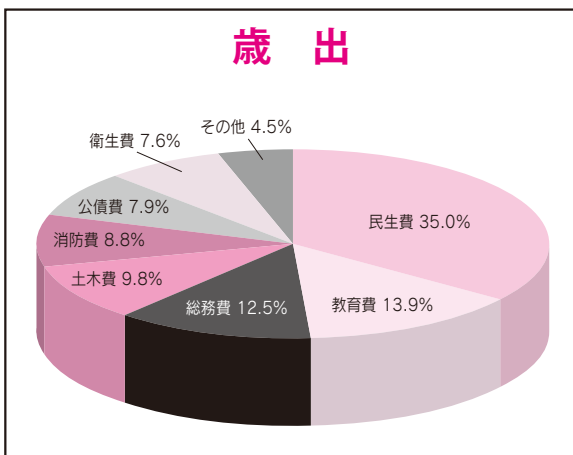
小学校空調設備設置

2億3117万円

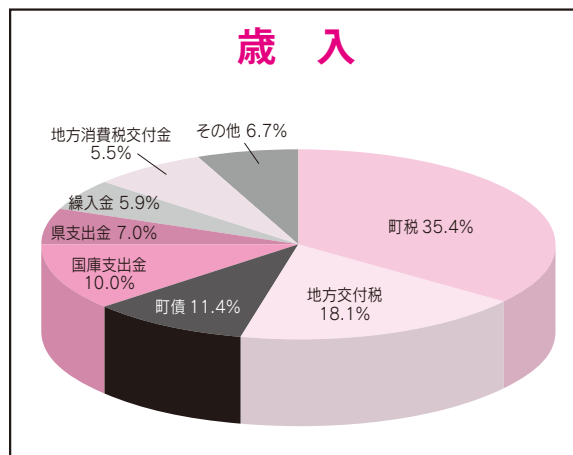
中学校大規模改造事業

2億5448万円

歳出



歳入



平成27年度

町内4小学校に エアコン設置へ！

一般会計 予算 討論

反対します

藤岡健司 議員

年収、200万円以下の方が
増え、90年代以降の長期不況と10年以上の所得減少は、町民の生活に深刻な影響を及ぼしています。

現在、町では、少子化が進んでいます。そして、町の高齢化が進んでいます。

教育については、国からの指示や条例改正で、この間、町民は町からの負担増がいつばいありました。それに対して10年以上連続して、所得が減っております。これをよく考えて頂きたいと思えます。義務教育は、無償であるという建前があるものの、さまざまにお金がかかる仕組みになっています。子育てに公的な費用が投入される事柄は、ほとんどなく、自己責任、家庭任せになっているのが実態

ではないでしょうか。こういう時に教材費など、親の負担しているものがいっぱいあるのではないのでしょうか。町は政府の進めた構造改革路線のもと、集中改革プランを作成し、いろいろな施策を具体化しました。その結果がまだ結論にはい

りません。町の施策をすべて反対をするものではありませんが、所得の減少の中、町民の生活に希望を持たせる予算を要望し、毎日の事務事業には、感謝するものではありませんが、反対の討論と致します。

賛成します

岡野勉 議員

平成27年度一般会計予算の総額は9億4300万円。昨年比で、7億5700万円、8・2%の増額です。増額の理由は、防災行政無線デジタル化整備2億8

44万円、小学校空調設備設置2億3117万円、毛呂山中学校大規模改造事業2億5448万円が計上されています。

選挙前とは言え、良く踏み切ったと言えます。返済計画も熟慮し、しっかり事業を達成して頂きたい。

私は、長年非正規雇用（臨時職員）の待遇改善、正規雇用の指摘を行ってききましたが、予算では、臨時職員時間給の30円アップが達成されています。また、保育士にあつては4名の正規職員が採用見込みとされ、率にして6割強の臨時職員が62%、3%の改善があります。

その他、今年4月から重度心身障害者医療費窓口払いが廃止されます。

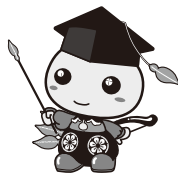
なお、長年に亘り改善を指摘した「岩井学童保育所」の狭隘化が改善されます。公平性の見地から、ア

イパッドが未整備であった小学校2校に設置されます。本町図書館の町民一人あたりの本の貸し出し数が全県で8番目に貸出されている状況も報告されました。

以上をもって賛成討論とします。



大規模改修工事を予定している毛呂山中学校



平成27年度

特別会計予算

国民健康保険特別会計

歳入歳出51億8,708万円(14.82%増)

国民健康保険は、被保険者の疾病、負傷、出産等に必要な保険給付を行い被保険者の健康を支えています。

◎主な歳入・歳出

○歳入

国民健康保険税	8億5,517万円
国庫支出金	10億639万円
療養給付費等交付金	2億672万円
前期高齢者交付金	12億9,809万円
県支出金	2億9,778万円
共同事業交付金	11億5,411万円

○歳出

保険給付金	33億4,551万円
後期高齢者支援金	5億8,195万円
介護納付金	2億797万円
共同事業拠出金	9億7,258万円

(賛成多数可決)

介護保険特別会計

歳入歳出21億3,562万円(1.8%減)

介護保険は、要介護認定を受けた方に対して必要な保険給付を行うとともに、介護予防を推進するために運動教室などの地域支援事業を実施しています。

◎主な歳入・歳出

○歳入

支払基金交付金	5億6,470万円
保険料	5億1,878万円

○歳出

保険給付費	20億681万円
地域支援事業費	4,455万円

(賛成多数可決)

水道事業会計

収益的収入及び支出

収益的収入	8億719万円
収益的支出	7億5,866万円
損益勘定(純利益)	3,051万円

資本的収入及び支出

資本的収入	1億6,393万円
資本的支出	4億7,141万円

収入額が支出額に対して不足する額3億747万円は補填財源をもって補填します。

(賛成多数可決)

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出3億2,105万円(1.13%減)

埼玉県全市町村が加入している埼玉県高齢者医療広域連合と市町村が連携し事務を行っています。町では、受付窓口業務と後期高齢者医療保険料の徴収業務を担当しています。

◎主な歳入・歳出

○歳入

後期高齢者医療保険料	2億3,573万円
------------	-----------

○歳出

後期高齢者医療広域連合納付金	3億248万円
----------------	---------

(賛成多数可決)

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出2,968万円(1.03%増)

農村地域における生活環境の整備と河川や用水路などの水環境の保全を目的とした事業。

◎主な歳入・歳出

○歳入

一般会計繰入金	2,122万円
---------	---------

○歳出

事業費(委託料等)	1,360万円
-----------	---------

(全員賛成可決)

平成26年度

補正予算

一般会計(第5号)

予算総額 96億9,285万円

歳入歳出それぞれ、5,594万円を減額

◇主な内容◇

主に年度末予算整理として行い、臨時福祉給付金、介護保険特別会計繰出金、民間保育所等育成費補助金等を減額

(全員賛成可決)

一般会計(第6号)

歳入歳出それぞれ、1億2,538万円を増額

◇主な内容◇

地方版総合戦略策定支援調査業務委託料	646万円(繰越明許費)
プレミアム付商品券発行事業補助費	8,089万円(繰越明許費)
観光マップ等作成委託料	642万円(繰越明許費)
道標設置工事	500万円(繰越明許費)
ICT支援員賃金	210万円(繰越明許費)
無線LAN整備工事	247万円(繰越明許費)

(全員賛成可決)

国民健康保険特別会計(第3号)

予算総額 47億9,318万円

歳入歳出それぞれ、2億4,987万円を増額

◇主な内容◇

保険給付の見込額を算定し療養諸費及び高額医療費を、また、諸支出金において償還金及び還付加算金をそれぞれ増額し、国保連合会からの算定資料を基に共同事業拠出金を減額

(全員賛成可決)

介護保険特別会計(第2号)

予算総額 19億9,741万円

歳入歳出それぞれ2億4,255万円を減額

◇主な内容◇

保険給付費の支払見込み額を算定し、介護サービス等諸経費及び、地域支援事業等を減額

(全員賛成可決)

後期高齢者医療特別会計(第2号)

予算総額 3億1,488万円

歳入歳出それぞれ843万円を減額

◇主な内容◇

埼玉県後期高齢者医療広域連合からの算定資料及び事務費等の見込み額を算定し、総務費及び後期高齢者医療広域連合納付金を減額

(全員賛成可決)

水道事業特別会計(第3号)

◇主な内容◇

収益的収入及び支出のうち、支出は消費税及び地方消費税749万円の増額で支出合計は7億6,127万円となり損益勘定は5,274万円の純利益。資本的収入及び支出のうち、支出は配水施設整備費1億104万円の減額、収入は企業債6千万円の減額。この補正により不足額(補填額)は3億2,839万円。(全員賛成可決)

条例の制定・改正など

条例の制定

○毛呂山町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例

要旨 第3次地方分権一括法の施行に伴い、地域包括支援センターの職員等の基準を条例で定める必要が生じたため

(賛成多数可決)

○毛呂山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

要旨 第3次地方分権一括法の施行に伴い、指定介護予防支援等事業の人員等の基準を条例で定める必要が生じたため

(全員賛成可決)

条例の改正

○毛呂山町行政手続条例の一部を改正する条例

要旨 行政手続法の改正に伴い、行政指導等の手続に関する規定を追加する必要が生じたため

(全員賛成可決)

○職員給与に関する条例の一部を改正する条例

〔閉会中の継続審査〕

(議会解散により廃案)

○毛呂山町立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例

要旨 児童福祉法の一部が改正された事に伴うもの

(賛成多数可決)

○毛呂山町介護保険条例の一部を改正する条例

要旨 第6期介護保険事業計画の策定に伴い、保険料率の変更等をする必要が生じたため

(賛成多数可決)

○毛呂山町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 指定地域密着型サービスに関する国の基準が変更された事に伴うもの

(賛成多数可決)

○毛呂山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 指定地域密着型介護予防サービスに関する国の基準が変更された事に伴うもの

(賛成多数可決)

条例の廃止

○毛呂山町保育所入所条例を廃止する条例

要旨 児童福祉法の一部が改正された事に伴うもの

(賛成多数可決)

町道の路線の廃止

- 町道第3021号路線
- 町道第3151号路線
- 町道第3152号路線
- 町道第3158号路線

町道の路線の認定

- 町道第15号路線
- 町道第3991号路線
- 町道第3992号路線
- 町道第3993号路線



町道第15号路線(野久保線)



毛呂山町議会自主解散!!

発議第1号

毛呂山町議会の解散決議

(全員賛成可決)

毛呂山町議会の解散決議

地方公共団体の議会の解散に関する特例法第2条の規定に基づいて、毛呂山町議会を解散する。
以上、決議する。

平成27年3月25日

毛呂山町議会

(提出の理由)

顧みれば、昭和30年旧毛呂山町と旧川角村が合併し、今年は合併満60年を迎えようとしている。この間、都市化の進展や人口の増加、更に町の中心部にある埼玉医科大学病院が地域医療の核として住民の健康福祉の増進と地域経済の役割に大きな支えとなり、急速に発展してきた。しかし、昨今は少子高齢化の進行や人口減少が顕著に現れるとともに社会保障等に伴う扶助費の増大、加えて小中学校等の老朽化に伴う整備、又あらゆる公共施設等のインフラがここに来て同時多発的に整備の必要性が迫り一気に課題が噴出し、まさに大転換期となっている。町はこうした課題において今後の財政面に与える影響が極めて深刻且つ憂慮すべき状況となってきた。

こうした中、4月町長選挙と8月猛暑の町議会議員選挙を同一にすれば選挙費用の削減と高齢者等への配慮が実現できるとの趣旨により平成26年5月19日「町長選挙と町議会議員選挙の時期に関する陳情書」更に同年8月20日「毛呂山町・町長選挙と町議会議員選挙の時期に関する陳情書」がそれぞれ提出された。同一年に二回にわたり同一趣旨の陳情書が議会に提出されたことは極めて稀である。しかも8月20日の陳情書には1005名の署名が添付されている。

したがって我々は、町民のこうした「世論の動向」に謙虚に向き合い、更に今後の社会情勢の変化と更なる財政の硬直化を招くことのないよう議員が自主的に解散することが住民の負託に対する我々の配慮と考える。

よって意を決し、毛呂山町長選挙と毛呂山町議会議員選挙の同日選挙を実施するため、ここに地方公共団体の議会の解散に関する特例法第2条により、議会を解散する。

賛成討論

高橋 達夫議員

地方公共団体の議会の解散に関する特例法の第1条では「地方公共団体の議会の解散の請求に関する世論の動向に鑑み、当該議会が自ら進んでその解散による選挙によってあらたに当該地方公共団体の住民の意思をきく方途を講ずるため、地方公共団体の議会の解散について、地方自治法の特例を定めるものとする。」とあります。

このような町議会の解散問題が新聞報道された以降、多くの町民に意見を聞いてみました。あまりに選挙期間が短く新人候補が出にくい選挙になるのではと言う意見もありました。しかし新聞報道されたため、すでに決定したかのように勘違いをしている町民も多くおりましたが、大多数の人が賛成の意見でした。そのような町民の声が多くある以上、私は反対する訳にはいきません。

ただ問題は今議会で「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(職員の給与を平均2.1%引き下げ)」案に対し、労使間でさらに話し合えという理由で、閉会中の継続審査を賛成多数で決めている。

この議会が解散するのであれば、この議案は廃案になります。

従って町は人件費補填のため補正予算を組む必要がある。それを最小の予算にするため、町長がこの議案を専決処分とするよう強く要望し賛成する。

発議第2号

毛呂山町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(賛成多数可決)

提案理由

長瀬 衛 議員

毛呂山町議会政治倫理条例の施行に伴い、政治倫理審査会の委員の報酬を定める必要が生じました。したがって、毛呂山町の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する必要がありますので、この案を提出するものであります。

反対討論

弓田 茂樹 議員

本年度12月議会に提出された毛呂山町議会議員倫理条例の制定発議案について、私は修正が必要である旨の反対討論を行った経緯があります。瑕疵あるこの条例に係る内容であるため、再度改めて毛呂山町議会議員政治倫理条例完成化に向け検討の協議を行うことを強く要望し、反対の討論といたします。

発議第3号

毛呂山町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例
(賛成少数否決)

提案理由

高橋 達夫 議員

生産者人口の急減等により、5年後の平成32年には町税が2億円減ると予想されている。その為には議会自らも行財政改革を進めなければならない。

日高市は今年選挙で議員定数を2名減らし16名にした。それに習い毛呂山町も2名減らし12名にすべきだ。それにより年間約860万円経費が削減できる。同一選挙の財政効果をあわせれば4年間で4500万円になる。よって議員定数2名削減案を提案する。

賛成討論

村田 忠次郎 議員

現在の議員定数は、平成19年に議員発議により14名と定められました。現在町としても財源が非常に厳しい状況下であり、我々議員も町民に対し経費の節約を考え、定数削減に賛成をします。以上、議員である私どもも身を削ることが町のためになると信じ、発議第3号に賛成いたします。

賛成討論

弓田 茂樹 議員

埼玉県の人事委員会で算出された結果が、職員給与の減額であります。官民が今、大変厳しい状況に有る中、我々議員も身を削る覚悟を持ち、少数精鋭のもと、今こそ、難題に立ち向かう必要性があります。さらには、財政削減効果も期待しまして、本件発議についての賛成討論と致します。

● 議案の審議結果(3月定例会)

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案	議員名											審議結果			
	弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	藤岡健司	下田一甫	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛		堀江快治	宮寺征二	
1	毛呂山町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	討×	○	○	○	○	○	○	議	可決
2	毛呂山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
3	毛呂山町行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
4	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	閉会中の継続審査											議	廃案	
5	毛呂山町立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	討×	○	○	○	○	○	○	議	可決
6	毛呂山町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	討×	○	討×	○	○	○	○	議	可決
7	毛呂山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	討×	○	○	○	○	○	○	議	可決
8	毛呂山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	可決
9	毛呂山町保育所入所条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	討×	○	○	○	○	○	○	議	可決
10	平成26年度毛呂山町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
11	平成26年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
12	平成26年度毛呂山町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
13	平成26年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
14	平成26年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
15	平成27年度毛呂山町一般会計予算	○	○	○	○	○	討×	○	討○	○	○	○	○	議	可決
16	平成27年度毛呂山町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	討×	○	討×	○	○	○	○	議	可決
17	平成27年度毛呂山町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	討×	○	○	○	○	○	○	議	可決
18	平成27年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
19	平成27年度毛呂山町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	討×	○	討×	○	○	○	○	議	可決
20	平成27年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	討×	○	○	○	○	○	○	議	可決
21	町道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
22	町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
23	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
24	平成26年度毛呂山町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
発議1	毛呂山町議会の解散決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	討○	○	○	○	可決
発議2	毛呂山町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	討×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	議	可決
発議3	毛呂山町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	討○	×	×	×	討○	×	×	×	○	○	×	×	議	否決

常任委員会レポート

《総務文教常任委員会》

平成27年度一般会計予算のうち、歳入の部全部、歳出の部議会議案第4号について審査を行いました。なお、審査にあたり議案に関する現地調査を実施し、慎重な審査を3日間行い、一般会計予算は可決すべきものと決しました。

問 町民税が相当減っている。

町の特徴として生産者人口がこれから急激に減っていく傾向が原因だと思いがいかがか。

答 給与関係でいうと、若干減少の傾向が鈍っていることで上向きの傾向があらわれつつあるが、生産者人口はこれから減少してくるといふことで町民税については伸びは見込めない状況。

問 学校用務員と事務員、そして給食補助員の賃金の時給はどうなっているか。

答 学校用務員は時給810円から27年度には840円、学校事務員賃金については時給820円から27年度は時給850円。また学校給

食補助員については時給810円から27年度は840円になりそれぞれ30円のアップとなります。

問 毛呂山小学校体育館大規模改造工事設計業務委託料

749万9000円で結構大きい予算の策定に当たつてどのような見積もりをとっているか。

答 毛呂山小学校体育館についても大分老朽化しており、抜本的な大規模な改修が必要であるというふうを考えている。

問 毛呂山中学校の大規模改造工事管理業務委託料と工事費で川角中学校と相当違いがあるような気がするが坪単価の違いはあるのか。

坪単価の違いはあるのか。

《生活福祉常任委員会》

平成27年度一般会計予算のうち、歳入の部民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費及び特別会計予算の国民健康保険、水道事業、介護保険、農業集落排水事業、後期高齢者医療、町道路線の廃止・認定の審査を行いました。なお、審査に当たり議案に関する現地調査を実施し、慎重な審査を3日間行い、一般会計予算及び特別会計予算などいずれも可決すべきものと決しました。

問 保健センターは町民の健康を守る殿堂なので、更新計画等の取り入れの考えは。

答 建物の検査、診断は必要であると認識している。

問 関係部署の連携は非常に大切に思う。在宅介護に対する基本的な考え方は。

答 関係部署が定期的に会議を行っている。福祉課の地域福祉策定委員会にも参加をしていく。在宅介護に関し、現在進行中である。

問 空き家について、国が法律改正をして「1年以上出入りが無いものは空き家と認定する」といっている。住民から報告があがったら

直ちに調査をし、早期解決することが町民の願いだと思いが。

答 基本的にはそうだが、空き家だから直ちに固定資産税の軽減がなくなるということではなく、そのうちのすぐに壊れて人が住めない状況の空き家を特定空き家と認定すると、軽減が外されるものと認識している。

問 新川越越生線には対策協議会費として予算計上されているが、川越坂戸毛呂山線は計上されていないが。

答 新川越越生線は5市町が構成している促進同盟会があり、要望活動などの負

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 佐藤 秀樹 議員 ①地方創生に対する毛呂山町の見解
②企業誘致
③空き家対策
- 小峰 明雄 議員 ①教育・子育て環境の充実
②特定事業主行動計画
③高齢者福祉の充実
④障がい者福祉の充実
- 高橋 達夫 議員 ①選挙公約と財源
②町林業の再生、活性化
③町の域内総生産額と収支
- 荒木かおる 議員 ①地域住民生活等緊急支援のための交付金
②小中連携、小中一貫教育
③地域づくりによる介護予防推進モデル事業
④長瀬駅前野久保線
- 千葉三津子 議員 ①消防団員の支援対策
②振り込め詐欺の被害防止対策
③高齢者の支援対策
- 村田忠次郎 議員 ①これからの地方創生時代に対応した態勢づくり
- 藤岡 健司 議員 ①教育
②介護保険
③地球温暖化
- 岡野 勉 議員 ①安心・安全な雇用・労働(公契約条例)
②防災行政無線のデジタル化及び改善
③介護報酬引き下げは、どう影響するか

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載しました。質問順は抽選により決定されます。



体育施設の現地視察(西戸グラウンド)

【答】 予算ベースの比較で1億8000万円開きがある。これを平米単価に直すと毛呂山中学校の方が平米当たり3万8000円ほど高い平米単価予算となっている。その理由は、特に毛呂山中学校の方では電気設備、機械設備系で川角中よりも増額要因となり、増額要因だけでなく7700万円の増となる。



河川改修事業の現地視察(葛川)

担金として計上しているが、川越坂戸毛呂山線については、既に鶴ヶ島、坂戸地区事業が完了しており、要望活動は毛呂山町の単独となるため負担金が発生しないためである。





着々と進む東部エリア

企業誘致の進捗状況は

企業2社と売買契約が締結されました

佐藤 秀樹 議員

企業誘致

問 平成23年9月議会以降、企業誘致の推進を訴え続けて来ましたが、現在の進捗状況と今後の企業誘致に対する見解をお伺いいたします。

答 東部地区につきまし

ては、未誘致部分、約8・4ヘクタールのうち約4・2ヘクタールが企業2社と売買契約が締結されました。南部地区は、企業が希望している面積や造成費用、地権者との契約形態などの条件がなかなか合致せず、具体的な話しまで進展しておりませ

ん。今後におきましては、次期総合振興計画に新たな活性化エリアを検討のうえ、更に推進していく所存でございます。

地方創生に対する町の見解

問 地方創生に対し、今後どのような方針で取り組んでいくのか伺います。

答 町の総合振興計画と併せて策定を進め、平成27年度中には毛呂山町の総合戦略を策定する予定でございます。

今後のスケジュールは。

答 本年12月までには作成し、平成28年度予算に反映したい。空き家対策

問 当町において、空き家条例が施行し約1年が経過致します。現在の取り組み状況を伺います。

答 空き家等の適正管理条例に基づき、管理不全な空き家として寄せられた情報を基に、適正管理を求める助言及び指導を行っております。

問 条例施行後に、管理不全として寄せられた情報は何件ありましたでしょうか。

答 平成26年度に寄せられた全情報は46件であり、内訳は、破損が7件で、残りは草木の繁茂による除去等の問い合わせがほとんどでした。

子ども会への補助金の見直しは

総合的に勘案し検討したい

小峰 明雄 議員

問 平成26年度、教育費の内、

小学校費・中学校費の予算執行、教育長のご所見は。

答 落ち着いた学習態度で授業に臨み、基礎学力も着実に向上。教育環境の整備により、児童生徒の学校生活も、より充実したものとなり、なっております。

問 毛呂山中学校大規模改修工事、小学校4校の普通教室への

空調設備の設置工事、小学校トイレの改修工事、私の一般質問後の、取り組みは。

問 大規模改修工事、空調設備工事は、平成27年度に実施予定。地域ぐるみでの子育て支援、

青少年育成活動の充実、平成26年度の取り組み、課題は。

答 毛呂山町子ども会育成会連絡協議会と連携し、ジュニアリーダー養成講習会を新規事業として開催し、20名が登録した。

問 平成26年度、少子化対策、子育て支援対策のご所見は。

答 児童館に空調設備工事を施工し、快適な室内環境整備が図られた。児童手当は計画どおり執行した。こども医療費は、冬期受診分が増加傾向にある。

問 毛呂山町役場特定事業主後期行動計画の成果、課題は。

答 職員数の減少もあって目標

を達成できない部分もある。

問 第5期毛呂山町高齢者総合計画、3年間の成果は。

答 介護予防を推進する、ゆずっこ元気体操の普及に取り組み。認知症サポーター養成講座を開催。18人規模の認知症高齢者グループホームを誘致した。

問 第3期毛呂山町障害福祉計画、3年間の成果は。

答 訪問系サービス、日中活動系サービスは、それぞれ、見込量を上回っている。相談支援センターを設置し、相談支援体制を強化した。



ジュニアリーダー誕生、活発な活動を期待する



学生さん達で混雑している川角駅

川角駅周辺整備には どのくらいの予算が必要か

おおよそ10億から20億円ぐらいかかる

高橋 達夫 議員

問 先月示された毛呂山町の財政分析や人口報告書によると15歳から64歳までの生産者人口が激減し、それにより平成32年には町税が2億円減ると予想される。
4月26日に施行される

答 今度の町長選挙には2名の候補者が現在名乗りをあげ、それぞれの公約を示している。どんなすばらしい公約でも、裏づけとなる財源が必要である。井上町長の公約の財源の根拠をお尋ねする。

答 政策内容をよく吟味し、優

先順位を設けるとともに、補助金活用ができるものは補助金を利用する。

問 公約の中に川角駅周辺整備事業と言う大きな事業がある。この事業にはどのくらいの予算が必要と考えているのか。

答 おおよそではあるが10億〜20億円ぐらいの大きな事業である。

問 そんな大きな公共事業にこれからの時代補助金がつくとは思えない、地方創生の時代、国はそのような土木建設事業に金は出さないと言っている。市町村は本気で競争し、国への依存

心は捨てると言っている。補助金の他に財源はないのか。

答 今の川角駅が一番多い利用者は学生である。駅を利用する大学や、高校に応分の負担についての話しはすでにしている。林業の再生と活性化について

問 毛呂山町の面積の約半分以上が山林である。かつては町の主要な産業であった。山林を資源と考え、林業の再生の考えは、
答 林業を生業としている人はゼロが現状である。県の補助事業である里山平地林事業や、水源地域の森づくり事業を活用し、山林再生に取り組んで行く。

県道と野久保線の交差点所に に信号機の設置を！

今後も強く県に要望していく

荒木 かおる 議員

問 長瀬駅前野久保線整備事業が3月14日に竣工を迎え開通式が行われます。武州長瀬駅から

計画はされているのかお伺いいたします。

県道を渡り川角方面に行かれる歩行者、自転車の方も増えるのではないかと思われます。開通式を目前にまだ信号機の設置の気配は見られませんが、すでに

答 信号機の設置は埼玉県警察本部が行うもので町では野久保線の開通に合わせて設置をお願いしていたが、年間で信号機が設置できる数が限られており交通量が多く危険な箇所がまだた

くさんあることから今回の野久保線開通に伴う新設は困難であるということだった。町としては開通後の交通量の流れをよく調査し早期の信号機の設置について今後も強く要望して参ります。

問 野久保線ができたことにより、若山と踏切を結ぶ道路が分離交差になったが、どういう理由でそのような交差点になったのか。法規上の理由であればどのような交差点にしなければならなかったのかお伺いいたします。

答 幹線道路の交差点については国で示されている道路構造令

の技術基準により整備することとなっております。優先する道路を主交通、その他を従交通とし従交通とする道路は主交通の道路に対して直角に近く十分に左右の確認ができる角度で取り付けなければならぬとの規定がある。国の補助金を活用している本事業は技術基準を遵守しなければならぬ上、警察からの強い指導もあり現在の分離交差になったものでご理解頂きたい。



早急に信号機の設置を

	毛呂山消防団	鳩山消防団	越生消防団	3団合計
定員数	155人	93人	99人	347人
実員数	146人	93人	92人	331人
本部	13人	9人	3人	25人
1分団	35人	28人	17人	
2分団	29人	28人	14人	
3分団	25人	28人	15人	
4分団	22人		15人	
5分団	22人		15人	
6分団			13人	



西入間広域消防組合消防団員の人数
(H27.4.7現在)

今後の消防団員の確保と対策は

地域全体で応援する制度も検討していきたい

千葉 三津子 議員

問 消防団員の支援対策

答 東日本大震災以降、災害時などに活動する消防団の重要性が高まっている。しかし、団員の高齢化などによって団員数が減少の傾向にあり、毛呂山町でも消防団員の確

保が必要と思うが如何か。

答 消防団員の欠員を解消するため、団員自ら地域に出向いて入団を呼び掛けている。今後は地元企業への消防団に入団を働きかけて参る。

問 消防団の定員に満たない理由は、どこに原因があるのか。

答 消防団適齢年齢で町内在の方が減少している事、仕事との両立が難しいことやプライベートな時間を拘束されたくないという意識の変化が考えられる。

問 5年、10年後の少子高齢化時代を見据えての対策は。

答 消防団員の不足による火災等活動状況の改善に消防支援隊という組織を設置している自治体もある。今後この様な制度等が必要となつてくると考えるので設置している自治体の状況を充分調査をして検討して参る。

問 消防団員のモチベーションを上げるための施策は。

答 毛呂山・越生・鳩山の3町で年1回「わが町の消防団」を発行している。団員の子どもがその目で見感じて居る消防団活動の大変さ大切さを写真真入りで紹介している。今後、地域全体で応援する制度も検討していきたい。

要望 地元の商店や飲食店などと協力し、買い物や飲食店の割引サービスを受けられる消防団応援ショップ事業や団員の家族を含め、病院での検診費用などが割り引かれる事業など、色々なアイデアを考えて消防団を後押しして頂きたい。

地方創生時代に対応した態勢づくりについて

職員が一丸となり地方創生に

取り組んでいく

村田 忠次郎 議員

地方創生時代となり、従来にも増して町独自のアイデアや工夫が必要で。これを進めるのは「人」です。町としての人材育成について伺います。

問 職員の育成方針について。

答 平成19年2月に策定した毛呂山町人材育成基本方針により、

体系的・計画的に取り組んでいく。①住民満足度の追求と使命感のある職員、②仕事への情熱と事務事業の改善・改革に積極的に取り組む職員、③バランス感覚と柔軟性をもつ職員、④政策形成能力と戦略的思考をもつ職員、⑤総合的な能力を發揮で

きる職員という5つの職員像を掲げて取り組んでいます。

問 職員の資質向上のための方策について。

答 人を育てる職員研修、人を育てる人事制度、人を育てる職場環境づくりの3点を施策として自己啓発、職場内研修と職場外研修に取り組んでいる。人事制度では、能力・実績を重視した給与制度の構築に取り組み、平成23年度から実績評価・能力評価を実施、結果を昇給に反映させています。

問 職員の主体性や意欲が發揮できるための配慮を伺う。

答 職員を適正に評価し、職務に対するモチベーションを高めることが重要。新規採用を増やし、職員の負担軽減に配慮していく。また、毎月健康相談を実施し、健康面でも配慮し少数精鋭の簡素で効率的な行政組織の構築に向け鋭意努力する。

問 町長はどのような配慮をしているか伺います。

答 役場の機能も「主役は町民である」という視点で見直す必要があると考えております。



一丸となって地方創生に取り組む町役場



県が指定した土石流危険渓流

大量の雨が降った場合の被害が できる箇所を現在把握しているか

県が指定した土石災害特別警戒区域及び土石災害警戒区域(の83箇所)と、がけの一部が崩れた又は崩れそうになった箇所(7箇所)を把握している

藤岡 健司 議員

問 地球温暖化について、これからの10年ぐらいに温暖化と環境変化を町はどう考えていますか。

答 温室効果ガスの排出量については、現状から特段の対策を行わない場合、今後も緩やかな上昇

傾向が続くと予想されており、気温の上昇は、熱中症の増加や集中豪雨、農作物への被害の拡大が懸念され、今後はより深刻な影響をもたらすと考えられます。温暖化対策は、地球規模での問題でありますので、一層の温室効果ガス発生を抑制す

るため、町としてできることを国や県と連携して取り組んでいくことが重要と考えています。

問 介護保険制度について、見直しがされるとありますが町はどうなりますか。

答 4月より介護保険制度は「地域包括ケアの構築」を主眼とした大きな改正が予定されている。町としては、関係機関との更なる連携の強化を図るとともに組織体制の強化を実施し、適切に対応していきたいと考えている。

問 介護従事者が定着できない現状がありますが。

答 介護従事者が見つからないことや、経営が厳しいことなどを伺うことがある。居宅介護支援事業所の指定権限は県にあり、町に経営等に関する指導監督権限はありませんが、個々の事業所からの相談等には必要に応じて対応してまいります。

問 リハビリの現状はどうなっていますか。

答 訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションがあるが、老人保健施設などに併設された通所リハビリテーションの利用が多くなっている。

公契約条例で安心・安全な 労働と雇用を！

国で法制化すべきと考える

岡野 勉 議員

問 町は公契約条例(自治体などが発注する業務で働く労働者が低賃金しか支払われない)官製ワーキングプアの解消をめざし、事業者に一定額以上の賃金の支払を求める条例)について、どう意義を受け止め、今後導入の見込はあるか。

答 自治体が発注する工事等の請負契約などの業務に従事する労働者の適正な労働条件を確保することで、業務の質の確保及び安心して暮らすことができる地域社会を目的とし、その意義は大変重要と理解しています。しかし、憲法では「賃金、就

業規則、休息その他の勤労条件に関する基準は、法律でこれを定める」と規定されており、公契約条例で地域別最低賃金を上回る額の賃金支払いを事業者に義務づけられるか。労働者・使用者間の自主的な交渉の合意原則上どうか充分検討したい。

問 町でも条例化の促進を！

答 これからの行政は、自治体業務として指定管理者、およびPFIなどの事業者に頼る場面が予想される。正に公契約条例の必要性を強く感じる。工事や業務を発注する者として、どのような労働条件・待遇で働き、

労働環境はどうか、責任を持つて対応すべきです。

答 労働者の適正な労働条件を確保することはひとつ自治体で、できるものではなく国が全国で適用できるように法制化すべきと考えます。デジタル化は万能でない

問 防災行政無線のデジタル化は「万能」ではない。

答 山間地域だけでなく平地でも情報到達に死角がある場合、個別受信機の設置を。全町へのデジタル化は2年掛かる。平地での情報提供にも万全を期したい。



公契約条例(公共事業)で、官製ワーキングプアの解消を!!

人事

固定資産評価審査委員
(再任)

荏原 茂氏

昭和23年8月生
毛呂山町川角

全員協議会

【1月29日議題】

- 1 地方公共団体の議会の解散に関する特例法第2条の規定に基づく毛呂山町議会の解散決議について

【3月2日議題】

- 1 平成27年度毛呂山町一般会計予算の概要
- 2 毛呂山町総合振興計画及び総合戦略について
- 3 介護保険料の改定等について
- 4 子ども・子育て支援新制度について
- 5 川角駅周辺整備について

- 6 教育委員会制度改正について

議会事務局人事

異動総務課職員係主任

田邊 康子

新任庶務・議事主任

田中 永子

表彰

○全国町村議会議長会27年表彰

岡部 和雄 議員

○全国町村議会議長会15年表彰

及び県町村議会議長会15年表彰

岡野 勉 議員

3 毛呂山町議会議長会条例委員報酬額の設定

議会の動き

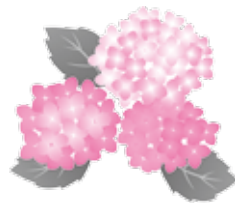
- 1月29日 全員協議会
- 2月 1日 第87号議会だより発行
- 5日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 16日 西入間広域消防組合議会定例会
- 17日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 18日 広域静苑組合議会定例会
- 19日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
- 23日 議会運営委員会
- 26日 埼玉県町村議会議長会総会
- 3月 2日 } 第1回(3月)定例会
- 25日 } 議会運営委員会、全員協議会
- 2日 } 議会運営委員会
- 3日 } 議会運営委員会
- 11日 } 総務文教、生活福祉常任委員会
- 12日 } 総務文教、生活福祉常任委員会
- 13日 } 総務文教、生活福祉常任委員会
- 25日 議員互助会総会

次回定例会は6月です。

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
3月 2日(月)	8
3月 3日(火)	33
3月 4日(水)	15
3月 5日(木)	2
3月 9日(月)	1
3月23日(月)	7
3月25日(水)	35

傍聴席



あとがき

去る3月25日に、議会の解散決議が全員一致により可決となり、その後、執り行われた選挙により新しい顔ぶれの議会議員が揃いました。議会構成委員などの詳細については、8月1日号に掲載予定しております。

今後は、左記の編集委員をもって、より一層町民の皆様に親しまれ、愛される議会だよりになりますよう委員一同精進して参りますので、ご愛顧のほどお願い申し上げます。

(弓田 茂樹)

編集委員

委員長 弓田 茂樹
副委員長 荒木かおる
委員 下田 泰章

委員 平野 隆
委員 澤田 巖
委員 牧瀬 明

アドバイザー

(議長) 堀江 快治